

## 研修の目的

大学経営を取り巻く環境が厳しくなる中で、「広報」の役割が以前よりも増え、その重要性も増えています。

さらに、価値観の多様化と広報ツールの進化により、業務内容も非常に高度化しています。それは同時に、リスクも増していることとなります。

とりわけ、近年我が国でも注目度が高まっている個人情報保護や著作権、肖像権の問題、SNS炎上等は、喫緊の課題と言えます。

本講座では、それらのリスクを認識して回避しながら、成果を最大限あげる広報活動を展開できるようにすることを目指します。

## 研修の構成（例）

所要時間

半日～1日

### 1 大学広報の共通基盤の構築

#### ①最新の広報概論

産業革命をきっかけにアメリカで発祥、発展したと言われるマーケティング理論。現代は、SNS等を駆使した第4世代。この第4世代の広報活動の基本を再確認する。

#### ②大学広報業務とリスク

ニュースリリース、記者会見、広告展開、SNS展開から広報物の作成、ホームカミングデー等のイベント開催、卒業生、在学生、教職員等の情報管理等々を、業務の流れの中でリスクを考察していく。

#### ③グループワーク

『悩んだ、困った』実際にあったリスクについて紹介し合い、ディスカッションを行う。  
発表と講師によるコメントによって、より実践的な感覚を身に付けることを目指す。

### 2 各論の法的リスク対策

#### ①個人情報・プライバシー

大学広報業務における個人情報保護とプライバシーの侵害について学ぶ。

#### ②著作権・肖像権・商標

広報に活用する素材について、その権利関係と活用の留意点について学ぶ。キャラクター使用、画像・動画使用、人物撮影、Webへの投稿、メディア情報の2次使用・・・等々、様々な問題について体系的に学ぶ。

#### ③名誉棄損・信用棄損

昨今のSNSの投稿による名誉棄損・信用棄損について考察する。

#### ④SNS炎上

現代の広報活動の主力になりつつあるSNSだが、使い方を間違えると、広報的に逆効果になってしまうため、著作権、肖像権、個人情報や名誉棄損、信用棄損といったリスクから、法的に問題がなくてもトラブルに至るリスクまで、事例を交えながら学んでいく。

### 3 実践力養成

#### ①グループワーク

モデルケースを基にして、ケース・スタディを実施。個人の考えをまとめた上で、グループ内で意見交換しディスカッション。さらに、全体へ発表して講評。

#### ②リスクの先へ行く勇氣

予測困難な時代と言われる現代。常に進行形で変化する社会に対して、「変わらない」ことこそ、大学経営上のリスクであり、広報上のリスク。「変わる」勇氣を持つために、法的リスクを乗り越えた先の広報活動について考察する。

#### ③フリートークセッション

研修の総まとめとして、最初に掲げた目標等に対し、できたこと・できなかったこと等を発表する。また、さらなる研鑽のための項目を特定し、次へのステップを考え、発表する。

### 4 終わりに